



医療法人 徳洲会

帯広徳洲会病院

2018年



10月号 Information 今月の診療科案内

健康管理センター

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスがのどや気管支、肺で感染・増殖することによって発症する病気です。インフルエンザの発症者は0～9歳の小児が約半数を占めているのに対し、インフルエンザによる死亡者は65歳以上の高齢者が大部分を占めているといわれています。季節性のインフルエンザは、例年11～12月頃に流行が始まり、1～3月にピークを迎えます。

かぜとインフルエンザは、ココが違う!

	かぜ (普通感冒)	インフルエンザ
		
発症時期	1年を通じ散発的	冬季に流行
主な症状	上気道症状	全身症状
症状の進行	緩徐	急激
発熱	通常は微熱(37～38℃)	高熱(38℃以上)
主症状 (発熱以外)	●くしゃみ ●喉の痛み ●鼻水、鼻づまりなど	●咳 ●喉の痛み ●鼻水 ●全身倦怠感、食欲不振 ●関節痛、筋肉痛、頭痛など
原因ウイルス	ライノウイルス、コロナウイルス アデノウイルスなど	インフルエンザウイルス

感染予防に手洗い!うがい!マスク!

外出後の手洗い・うがいは、予防の基本! 流行シーズン中は、外出時のマスク着用も忘れずに手洗いは手や指などに付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、うがいは口の中を洗浄にします。外出後の手洗い・うがいは、感染症の予防の基本です。

インフルエンザは検査と治療のタイミングが大切!

インフルエンザウイルスの増殖のスピードは速く、症状が急速に進行しますが、中には、発熱が37℃～37.5℃の事もあります。また検査は、感染後時間が経っておらず、体内で増殖したウイルスが少ないと反応が出ないこともあります。具合が悪くなったら、単なる風邪と軽く考えずに医療機関で相談しましょう。

帯広徳洲会病院

〒080-0302 河東郡音更町木野西通14丁目2-1
TEL(0155)32-3030 FAX(0155)32-3522

急患は24時間体制